

1. 科目名 (単位数)	日本語教授法I (2 単位)	3. 科目番号	EJJP2153
2. 授業担当教員	松浦 康世		
4. 授業形態	講義・演習・討論・発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	「日本語教育概論」を履修済みであることが望ましい。		
7. 講義概要	日本語教師としてどのような能力が必要なのか、理解した上で、日本語を教える際に用いられている教授法と理論について学ぶ。また、初級においてどのような教授法が用いられ、初級でどう教えていくかについて学んでいく。特に初級においては、学習者に理解してもらおうと、説明しがちになるが、説明は行わないことを理解する。初級では、さまざまな教授法を紹介し、その中で学習者自身が教授法を導き出せるように促していく。学習者の習得を促すために日本語教師は何をすればよいか考える。		
8. 学習目標	1. 日本語教師に必要な能力とは何かについて学ぶ。 2. どのような教授法が初級で用いられているのか理解できる。 3. 初級の四技能の習得を考慮した指導ができる。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	1. 課題 1 : 自分が目指す理想の日本語教師像 (作文 10 点、口頭発表 10 点) 2. 課題 2 : 授業で配布された日本語文法に関するワークシートを提出する。(20 点) 3. 期末課題 : 授業で取り上げた初級文法の項目の中から一つ選び、教案を作成する。(30 点)		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】授業内でプリントを配布する。 【参考書】授業内で適宜紹介する。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 日本語教師の仕事について理解できたか。 2. 日本語教師として、現場での指導実践に役立てるような活動ができたか。 ○評定の方法 [授業への出席、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1 授業への出席・受講態度 総合点の 30 % 2 期末試験 (レポート) 総合点の 30 % 3 課題・発表 総合点の 40 % なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。		
12. 受講生へのメッセージ	日本語教育の視点から日本語文法を学び、授業に応用できるよう練習する。日本語を楽しく効果的に教える方法を学習者の身になって考えてほしい。		
13. オフィスアワー	初回の授業で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション (学習の進め方、課題、評価方法)	事前学習	シラバスを読み、講座の概要を理解する。
		事後学習	時間割に沿って学習計画を立てる。
第 2 回	日本語教師の資質と能力	事前学習	日本語教師に必要な資質と能力を考える。
		事後学習	自分の理想の教師像について書く。(課題 1)
第 3 回	学習者のタイプとレベル、教科書の種類、日本語試験	事前学習	どんな人が日本語を学習するのかを考える。
		事後学習	学習者のタイプやレベルについて整理する。
第 4 回	教授法の種類、目的・対象別教授法	事前学習	日本語指導にはどんな方法があるか考える。
		事後学習	様々な教授法を分類し、整理する。
第 5 回	教室・言語環境の設定、学習の情意的側面	事前学習	学習や教育の情意的側面を考える。
		事後学習	情意的側面を考慮した学習環境を考える。
第 6 回	プログラムの作成手順、カリキュラム、シラバス	事前学習	カリキュラムとシラバスの違いを理解する。
		事後学習	日本語プログラムの作成手順を復習する。
第 7 回	教案、教材、教具、ICT 活用、著作権	事前学習	教材の種類や ICT 活用について調査する。
		事後学習	教材使用と著作権について理解する。
第 8 回	日本語の文法、初級の学習項目、4 技能の習得	事前学習	初級の教科書の学習項目に目を通しておく。
		事後学習	文法ワークシートを完成させる。(課題 2)
第 9 回	授業の流れ、初級文法の導入方法	事前学習	初級教科書の構成を理解しておく。
		事後学習	文法導入の意義を理解する。
第 10 回	初級指導の特徴、基本練習、応用練習	事前学習	日本語教科書のレベル別の特徴を比較する。
		事後学習	初級指導の特徴を整理しておく。
第 11 回	初級指導の練習 (例文・文法の導入)	事前学習	初級教科書の文法導入部分に目を通す。
		事後学習	单元ごとに学習項目の導入をイメージする。
第 12 回	初級指導の練習 (基本練習)	事前学習	基本練習の種類を調べておく。
		事後学習	基本練習の種類を整理しておく。
第 13 回	初級指導の練習 (応用練習)	事前学習	応用練習の種類を調べておく。
		事後学習	応用練習の種類を整理しておく。
第 14 回	誤用の種類、フィードバックの方法	事前学習	学習者はどんな間違いをするのか考える。
		事後学習	学習者が間違えた時の対処法を整理する。
第 15 回	まとめ、振り返り、アンケート	事前学習	今学期の学習を振り返り、疑問点を挙げる。

事後学習

初級授業の教案を完成させる。(期末課題)